信州の伝統野菜の新たな商流構築を図る交流会 開催要領

１　目的

長野県には魅力ある「信州の伝統野菜」が数多く存在する一方、生産量の減少や販路の限定等により、その魅力や価値を十分に活かしきれていない状況がある。

このため、飯山市で生産される「坂井芋」及び「常盤牛蒡」をモデル品目として、生産者、流通事業者及び実需者が一堂に会する交流・商談の場を設け、伝統野菜の魅力や活用方法を提案するとともに、新たな取引機会の創出を図る。

また、本交流会を契機として、生産から流通、販売、利用までをつなぐ商流モデルの構築を進め、生産者・流通事業者と実需者との継続的な取引関係の形成による販路拡大及び流通の定着を目指す。

さらに、飲食店等での活用を通じて消費者の認知度向上と需要拡大を図り、伝統野菜の持続的な生産・流通につながる仕組みづくりを推進する。

２　実施日時

令和８年 11 月 26 日（木）10 時から 14 時まで

３　実施場所

長野都市ガス本社スタジオキッチン　長野市鶴賀 1017

４　参集範囲

飲食店、ホテル・旅館、調理師会、生産者、ＪＡ、流通事業者（卸・仲卸）、飯山市、長野県（農産物マーケティング室、農業技術課、園芸畜産課、北信農業農村支援センター）、報道関係者

５　スケジュール

時　間	内　容
9:00～	調理開始
10:00～10:05	開会・あいさつ
10:05～10:20	事業趣旨説明、信州の伝統野菜の概要及び生産状況説明
10:20～10:30	生産者（木島里芋研究会）・ＪＡによる栽培状況説明
10:30～10:50	流通事業者（(株）Ｒ＆Ｃながの青果、(株）長野フルーツカンパニー）による流通・販売状況説明
10:50～12:00	（一社）調理師会（湯本会長他）による坂井芋・常盤牛蒡の活用提案（レシピ紹介）、試食及び生産者・流通事業者との交流
12:00～12:20	休憩・会場整理
12:20～13:30	商談・今後の取引に向けた意見交換
13:30～13:55	アンケート記入
13:55～14:00	閉会